



ステッカー印刷（台紙つきタイプ・ハーフカット） 画像形式でのデータ作成について

2023年3月更新



ステッカー印刷のご注文では、
画像形式でのご入稿における、photoshop用テンプレート(.psd形式)のご提供を行っておりません。
台紙のサイズを確認の上、データの「新規作成」をお願いいたします。

【Adobe photoshopでのデータ作成方法（作業用パスによる指示）】

- ①まずはじめに、ステッカーの台紙サイズから作成を行います。
キャンバスを新規作成し、**台紙の仕上がり希望サイズ+6mm**で設定してください。

キャンバスの外側から天地左右3mmずつを塗り足しと判断して、台紙をカットします。
※背景が白の場合も、**台紙サイズ+6mm**でキャンバスサイズを設定してください。



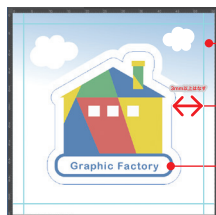
- ②次に、ハーフカットを行う位置を指定します。
ハーフカット位置を示すカットパスは、「**作業用パス**」でご指示ください。

ハーフカットとは、ステッカーをめくるための切れ目のことです。
右図のように、パスパレットに表示される「作業用パス」にてカット形状をご指示ください。
デザイン内に実線での指示をされた場合、印刷されてしまうため避けてください。

「作業用パスの作成方法」について詳しくはこちら
→https://www.graphic.jp/comic/user_guide/create_cut_path



- ③サイズが正しく設定されているか、仕上がり位置に近いデザインがないか、以下の3点をチェックしてください。

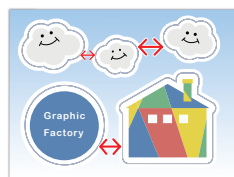


台紙の仕上げ位置から、天地左右+3mmずつ大きいキャンバスサイズになっていますか？

ハーフカットと台紙の仕上げ位置は **3mm以上** 離れていますか？

切れてはいけない文字などの大切なデザインは、
ハーフカットの位置から 2mm 以上内側まで、離れていますか？

- ④ハーフカットが2本以上ある場合は、ハーフカット同士の間隔が近すぎないか確認してください。

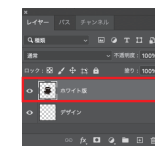


ハーフカット同士は2mm以上離してください

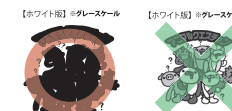
■ホワイト版について…

一部の用紙では白インクオプションが選択可能です。
白色の表現をしたい部分や透けさせたくない部分には、白インクを引くための「ホワイト版」のデータを作成ください。
(オプションで白インク先刷り・白インク後刷り・白インクのためのいずれかをご選択いただいた方のみ)

- 右図のようにホワイト版レイヤーをご自身で追加いただき、
白インクを使用したい箇所を、必ずグレースケールでご指定ください。



- グレースケールの濃度がそのまま白インクの濃度になります。
綺麗な濃度差は表現できませんので、濃度は**K100%**をおすすめいたします。
グレースケール変換するだけでなく濃度差のないようにご調整ください。



- スマートチェックを利用してご入稿いただく場合、
ホワイト版がK100%で作成されていないデータは受付できません。